

薬剤部の紹介

薬剤部長 桶本 幸

薬剤部は現在総勢7名の薬剤師で業務を行っております。

薬剤部の業務として調剤、製剤、医薬品管理、抗がん剤無菌調製、医薬品情報管理、薬剤管理指導、チーム医療参画、治験薬管理、実務実習生受け入れ、地域の薬剤師会との連携があります。

調剤業務において、当院は重度心身障がい児（者）や神経難病患者を多く抱えており、処方のお大半は散剤と一包化を要します。また簡易懸濁の指示がある場合は、配合変化に配慮したうえで分包調剤を行う対応をしております。

製剤業務において、特に力を入れて取り組んでいるのは長期経腸栄養摂取によるセレン欠乏症予防のためのセレン口腔内崩壊錠の作成です。大学の協力を得て、品質管理を含めよりよい口腔内崩壊錠を提供できるよう作成しております（写真①）。

薬剤管理指導においては持参薬鑑別による患者指導と主治医への報告を行い、治療で新たに開始された薬剤に対する説明や症状観察・副作用確認等の薬物治療の支援を行っています。

チーム医療においては感染制御チームや抗菌薬適正使用支援チーム、栄養サポートチーム、褥瘡チーム、緩和ケアチームのほか呼吸器ケアリハビリテーションカンファレンス、DOTS（結核患者に対する直接服薬確認療法）カンファレンス等チームケアによる吸入・服薬支援について参画しています。

学生実習においても未来の薬剤師の育成支援の一環としてカリキュラムに沿って実施しております。

コロナ禍にあっても薬剤部業務にプラスになったことがあります。それは新薬の勉強会や研修会がオンラインで開催されることです（写真②研修会）。有効な時間活用と多くの会に簡単に参加できます。新型コロナウイルスワクチンの調製も新しい業務です。看護部との新たな連携体制ができました。

一方悪影響を受けているのは、地域の薬剤師会との連携活動が止まってしまっているということです。薬剤部としてはこれから入退院支援センターでの持参薬確認を担当するべく準備をしております。実施に当たっては保険薬局の協力が不可欠であり、WEB 会議ツールを利用した合同研修会の再開を皮切りに連携強化を目指すことを検討しております。薬剤部はこれからも病院理念である「私たちは、わかりやすく、安全で、安心して受けられる質の高い医療を提供します」に沿って日々努力し続けてまいります。



①セレン口腔内崩壊錠作成工程の一部



②ランチタイムにオンラインで自己研鑽中

嚥下障害について

主任言語聴覚士 花田 淳一

「嚥下障害」とは、病気など何らかの原因で嚥下機能（食べる・飲み込む機能）に障害が起こった状態をさします。嚥下障害になると、ものが食べられなくなり、日常生活に支障をきたします。嚥下障害によって発生するデメリットは、大きく3つあります。①栄養摂取が難しくなり、低栄養などの栄養障害を起こす。②口からのど・食道を通るべき食べ物や唾液が気管に流れ、肺に入り、呼吸器の病気（特に「誤嚥性肺炎」）を起こす。③食べる楽しみを失い、患者さんのQOL（生活の質）が低下する。

嚥下障害にはさまざまな原因がありますが、当院ではパーキンソン病などの神経筋疾患、COPD や肺MAC症などの呼吸器疾患、脳性麻痺などの重症心身障害の患者さんなどが対象です。

これらの患者さんに対して、当院で行っている取り組みとして、栄養サポートチーム（NST）カンファレンスで多職種による栄養状態や食事内容の検討、嚥下内視鏡検査で飲み込みの評価、STによる嚥下スクリーニング検査で嚥下機能の評価、また嚥下リハビリ（間接・直接訓練）を行っています。嚥下リハビリでは、嚥下体操などの機能訓練、食事形態及び食事姿勢の調整、摂取方法の指導などを行っています。

飲み込みに不安がある方、食べたり飲んだりすると痰が増える方、ムセる方などは、一度かかりつけの医師に相談してみて、嚥下リハビリを受けてみてはいかがでしょうか。

嚥下体操

ことばのみこみの体操 3～5回ずつゆっくりと

- ①上体の運動**
上体を左右に倒す

上体を左右によじる

- ②肩・胸の運動**
両肩を耳に近づけた後、すっと力を抜く

腕の前でこぶしを作り、胸を広げた後、小さく胸を閉じる

- ③呼吸**
鼻から息を吸い込み、7秒息を止めた後、口をこらせて長く息を吐ききる

- ④首の運動**
首を前に倒し、その後天井を見上げる

首を左右に倒す

首を左右にねじる

- ⑤あごの運動**
口を大きく開き、その後閉じる

- ⑥頬の運動**
両頬を膨らませた後、へこませる

- ⑦唇の運動**
「い」と言いつつ唇を左右に引いた後、「う」と言いつつ唇をとがらせる

- ⑧舌の運動**
舌をしっかりと突き出し、その後、戻して口を閉じる

左右の頬を内側から舌で押す

上顎を舌で前から後ろの方向になぞる

- ⑨発声**
「あー」とできるだけ長く声を出す

- ⑩発音**
あ・ば・た・か・さ・ら を5回ずつ強くはっきりと発音する
あああああ、ばばばば、……


NST ラウンド



嚥下内視鏡



咽喉頭内部



慢性呼吸不全の患者さんのワクチン接種を終えて

内科医長 角 謙介

令和3年春より、日本でも新型コロナウイルスワクチンの接種が可能になりました。ただ接種開始から問題になっていたのは、熱発や倦怠感などの多彩な副反応です。このせいでワクチンの接種を忌避するような意見も世間には見られました。

ただ新型コロナウイルス感染が猛威を奮っている現状、感染予防・重症化予防のためにはワクチンの接種は不可避と考えられます。特に合併症や危険因子のある患者さんではなおさらです。

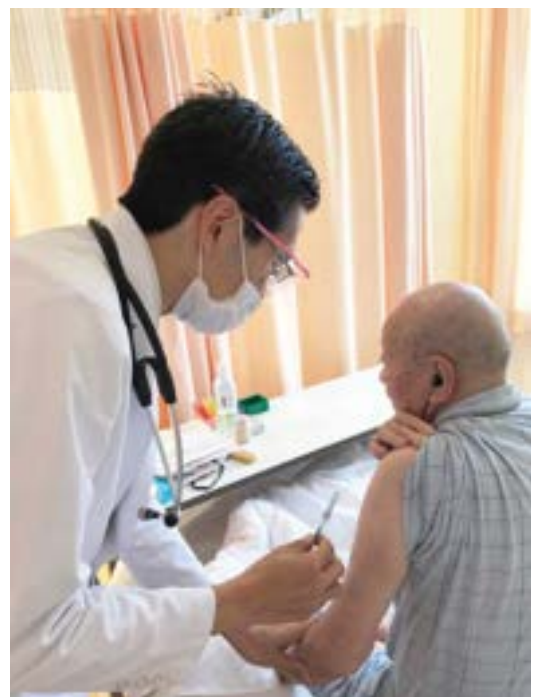
南京都病院には在宅酸素療法や在宅人工呼吸療法を必要とする慢性呼吸不全の患者さんが多く通院されています。この患者さんたちが安全にワクチンの接種を受けられることは非常に重要です。

今年の5月から8月にかけて、南京都病院では慢性呼吸不全の患者さんに日々慎重な健康観察をしながらワクチン接種を行いました。

その結果、約100人の患者さんのうち、約70%の患者さんがワクチン接種部位に、痛みや腫れなどの症状を訴えられ、約30～40%の患者さんがワクチン接種後に熱が出たり体のだるさなどの全身の症状を訴えられました。また熱に関してもう少し詳しく言うと、37.5℃以上の熱が出た患者さんは14%、38℃以上の熱が出た患者さんは3%いらっしゃいました。これは全国的な統計に比して高いとは言えず、むしろ低いぐらいでした。

総じてワクチンが原因と考えられる重篤な健康被害は見られず、今回の観察を通じて、慢性呼吸不全の患者さんでも、よほど接種日や前後の体調が悪くない限り、ワクチンは比較的 safely に接種できるのではないかと考えられました。ただもちろん患者さんによっては症状が強く出る方もおられたので、個別の丁寧な経過観察と対応は不可欠であることは付け加えます。

このワクチンがしっかり行き渡れば、ある程度はコロナ前の生活を取り戻すことも現実味を帯びてきます。それまで患者さんが安全に生活していただけるよう、当院スタッフ一同努力していく所存です。



地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

患者さんに安心を提供し、なんでも相談していただけるクリニックを目指しています

医療法人 如心会 よしだこどもクリニック

小児科

院長 吉田 大輔 先生



2017年6月、JRと近鉄三山木駅前に開設した小児科クリニックです。当地で増加傾向にある子どもの病気や予防接種の需要にお応えできるよう、日夜頑張っております。また、子どもの病気の不安や子育ての悩みに対応できるよう、かかりつけ医としての24時間電話対応や、医療の範囲外の相談にもメールでお答えしたり、助産師と医師に育児相談できる時間を設けたりといった施策を行っております。

患者さんにとって相談しやすい地域のクリニックでありつつ、各病院の専門分野をもった先生方とつながりを提供できる施設でありたいと考えております。

■ 京田辺市三山木中央1丁目9-3
アイル三山木スクエア1F
■ TEL 0774-66-5707
FAX 0774-66-5739

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前9:00~12:30 (受付12時まで)	●	●	●	●	●	●	●
午後15:00~17:00 (予約接種・健診)	○	○	○	○	○	○	○
午後17:00~19:30 (受付19時まで)	●	●	●	●	●	●	●

■ 休診日：日曜日、祝日



利用者様や家族様の伴走者でありたい

訪問看護ステーション 樹

訪問看護



初めまして。訪問看護ステーション樹（いつき）と言います。今年の5月17日に京都府八幡市で、オープンしました新しい事業所です。まず、事業所名の由来ですが、「樹」と言う漢字の意味に「自分の足でしっかり立つ」と言う意味があります。全ての方の自立した生活を、伴走者としてサポートさせて頂ければとの想いが込められています。

訪問看護って何をするの？病院に行っているから大丈夫！と言う方も、普段の健康管理はもちろん、「何か話を聞いてほしい・誰かに話したい」と思う瞬間があれば、私達がお話を聴く事で、次の一歩が踏み出せるかもです。コロナもあり色々心配。最期は家で看取りたい・・・皆様の様々な思いが実現できるように、そして、住み慣れたご自宅で、その人らしい暮らしが出来るお手伝いが出来ればと思います。

(訪問看護ステーション樹の特徴)

- ①看護師・助産師・言語聴覚士・理学療法士・社会福祉士・精神保健福祉士と、多種多様な専門家が集まっています。精神科慢性疾患や各種依存症・発達障害・がん末期の方等看取りも対応可能です。
- ②助産師・保健師も在籍。妊産婦の方の訪問看護も可能。子育ての悩みや赤ちゃんの発達についても一緒に考えます。
産後うつ症状の方のフォローも万全です。
- ③ソーシャルワーカーも在籍。障がいをお持ちの方の就労支援や経済面の相談、社会資源の活用方法等、暮らしに関する相談のプロがいます。
※助産師や社会福祉士・精神保健福祉士が在籍している事業所は、全国的にも珍しいです。

我々の想いと利用者様や関わって下さる方の想いを融合させ、伴走者として一緒に歩めたらと思います。「訪問看護ステーション樹」を、皆様のお力をお借りしながら地域の資源として、育てて頂けたらありがたいです。

■ 八幡市八幡山田31-3
■ TEL 075-983-5511
■ FAX 075-950-1161

■ 営業日：月曜日から土曜日
※24時間365日対応可能
■ 営業時間：9時から17時30分
※時間外も応相談

■ 訪問エリア

八幡市・京田辺市・宇治市・久御山町
城陽市・精華町・京都市伏見区・井手町
枚方市・木津川市（一部）

※エリア外でも、お気軽にご相談ください

■ HP

「株式会社ライフ・サポート樹」で検索



西病棟3階病棟紹介

西病棟3階 看護師長 川端 成佐

厳しかった夏の日差しも、秋風とともに和らいできました、みなさん体調はいかがですか。

当病棟は、筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病などの脳神経筋難病や、アルツハイマー型認知症、重症心身障害、呼吸器科の患者さんが入院されています。障害のため話すこと、食べることに對して入院患者さんの多くは意思疎通が図りにくいため、私たち看護師は、患者さんが何を伝えたいか、聴く姿勢を常にもち看護を実践しています。患者さん一人一人、パソコンや文字盤の使用などコミュニケーションの方法は違うので、患者さん一人一人にあわせたコミュニケーションツールを使用しています。当病棟は摂食嚥下認定看護師や認知症認定看護師研修修了看護師を中心に食事介助を必要とする患者さん、日常生活援助では患者さんのペースにあわせること、ユマニチュードを活用し患者さんの安全を優先に看護を行っています。脳神経筋難病の患者さんは病名を診断された時から胃ろう造設、気管切開の可否、療養先の選択のタイミングが訪れます。患者さん、家族と何を大切にしていきたいのか繰り返し話しあう時間を大切にしています。重症心身障害の方には療育室と連携し季節のイベントや野外活動を通し彩りのある生活を送れるよう関わっています。最近では高齢化がすすみ、当病棟でも認知症患者さん、脳神経難病に認知症を併発した患者さんの入院が増えています。多職種（医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなど）でカンファレンスにより問題を共有し、専門性を活かしてチームで患者さんに関わっています。コロナ禍前は病院に来ていただき地域の医療従事者向けに脳神経筋難病についての勉強会を開催していました。今年度からWEBを活用した内容を企画しています。

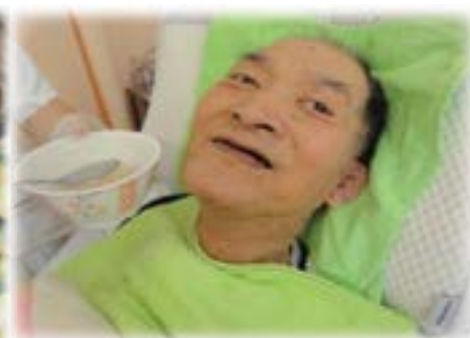
何よりも患者さんの安全を第一に考え、患者さんが笑顔で過ごせるように病棟スタッフ一同、努力していきたいと思えます。



文字盤を使用した
コミュニケーション



ユマニチュードを
活用した看護



食事介助

写真の掲載に関してはご本人、ご家族の許可を得ています。

在宅医療従事者向け研修を今年度6回開催します!!

京都府の地域医療・介護総合確保基金「在宅医療サポート病院への支援事業」について、令和3年度は当院が実施することになりました（京都府内では、他に済生会京都府病院様、山城総合医療センター様がご担当です）。

地域の在宅医療に従事されているみなさま向けに下記のとおり研修を実施します。当院が日々の診療の中で積み重ねてきた経験・知見を広くお伝えしたいと思っておりますので、是非ご参加ください。参加方法は各研修ごとにHP等でお知らせいたします。

日付	時間	テーマ
10. 2 (土)	13時～15時	小児在宅呼吸管理の要点
10. 16 (土)	13時～15時30分	ALS等の神経難病の呼吸不全について
12月予定	午後予定	パーキンソン病について
1. 6 (木)	夕刻予定	てんかんについて
1. 22 (土)	午後予定	肺線維症について
2. 3 (木)	夕刻予定	MAC症を中心とした慢性下気道感染症について

※10月の研修につきましては新型コロナウイルス蔓延状況を踏まえ、WEB研修のみの予定です。

また、上記事業とは別に、京都府結核アドバイザー事業として結核研修会（医師向け）を11月20日（土）に実施予定ですので、こちらもぜひご参加ください。

（問い合わせ）経営企画室長 宮澤 純一

参加してね



院長 坪井 知正

交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

＊各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- 内科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 皮膚科（入院のみ）
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 心療内科（入院のみ）
- 歯科（入院のみ）



独立行政法人国立病院機構

南京都病院

（当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください）

〒610-0113 城陽市中芦原11番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
時間外緊急時 0774-52-0642
URL <https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

地域医療
連携室

電話受付時間の延長について
平成30年12月1日から、申し込み受付を19時まで延長させていただきます。

電話受付時間

8:30～19:00 月～金（土・日・祝日休み）

TEL: 0774-52-0191（直通）

0774-52-0065（代表）

FAX: 0774-58-0270

予約状況を確認し、その場で受診日時をお返事いたします。

なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますので、ご了承ください。

E-mail: 407-renkei@mail.hosp.go.jp